

「やらされAI活用」から脱却！ やさしい生成AI・EQ研修

上級編

AI活用と業務推進ができる人材になるための
リスキリング研修



訓練の実施目的

上級編

(今回の研修の背景)

生成AI研修は世の中にたくさんありますが、

- ・ 知識のインプットのみで使えない
- ・ ワークがステップが飛んでいて
使いものにならない・自分ごとにできない

という「**AI活用・DXのレベルのズレとやらされ感**」
がAI活用促進の妨げになっているケースが企業が多数存在しています。

訓練の実施目的

上級編

AI実務推進リーダーになること

AIの活用力とEQ力（AIを活用するために人間しか持っていない感情の力）を身につける

この目的達成のためにAIとEQの2軸で研修を設計

AI活用と業務推進ができる人材になるための
リスキリング研修です。

訓練のゴール

上級編

GOALS LIST

(初級～上級を通しての目指す姿)



EQ（やり切る・言語化・レジリエンス）を備え、
AIを業務で活用し業務効率化を推進できる人



AIは材料作り（論点・代替案・リスク）で、
判断は人間がする



自分だけでなく、周囲の生産性も底上げできる
振る舞いを目指すこと

訓練のゴール

上級編

01

初級

基礎

AI：プロンプトとセルフチェック

EQ：やり切る力、言語化力、レジリエンス

02

中級

応用

AI：入力設計とフレームワーク実装

EQ：言語化力をより高める、想像力

03

上級

実践

半自動化、他の人とのAIを使った協業

実施内容

上級編

- 上級の準備
- 壁打ちの本質を学ぶ

(合計時間) 54分

Chapter0：上級の準備と壁打ち（全54分）

0-0 上級編のゴール

0-1 壁打ちの本質：外化→反射→攪拌→結晶化（公式で理解する）

0-2 “1分スクリプト”と音声入力：まとまってなくてOKで走り出す

0-3 壁打ち手法カタログ：ソクラテス／レッドチーム／5歳児説明／優先度棚卸し

実施内容

上級編

- テーマを自動化に適用
- AIと人の作業分担をする

(合計時間) 72分

Chapter1：テーマを“半自動化できる業務”へ変換（全72分）

1-1 テーマ変換：入力・処理・出力＋人/AI/ツールの役割分担に落とす

1-2 例外3つを先に出す：後戻りを防ぐ“先回り設計”

1-3 最小スコープ決定：まず回る形に縮める（60点で着手）

実施内容

上級編

- AIとAIを連結する土台作り

(合計時間) 114分

Chapter 2：知能を「点→線」へ（AI→AI連結の設計思想）（全114分）

2-1 知能の配置図：分析/批判/制作の役割分離＋非同調の設

2-2 中間生成物で精度を上げる：骨子→検証→清書（バトンパス）

2-3 セルフ・クリティーク：生成→自己採点→再生成（最速改善ループ）

2-4 逆説的シミュレーター：問いを作って次工程へ渡す（思考の解像度UP）

実施内容

上級編

- AIとAIを連携してよりよい回答を作り出す
- 実務で使用している例を知る

(合計時間) 110分

Chapter 3 : AIを“チーム化”して現実に勝つ (全110分)

3-1 クロス・モデル・チェック：別AIで壊して強くする (セカンドオピニオン)

3-2 リアルタイム・インサイト：最新情報前提の検証フロー (他社AI活用)

3-3 AIのナレッジ・ハブを作る&AIを専門家に仕立てる

3-4 音声→定型議事録：録音→要約→テンプレ化 (現場導入の即戦力)

実施内容

上級編

- AIの回答品質を上げる
-

(合計時間) 68分

Chapter 4：品質保証を“運用に埋め込む”（全68分）

4-1 評価ループリック：良し悪しを基準化する

4-2 レッドチーム常設：失敗シナリオ・リスクを工程に入れる

4-3 品質ログ→改善：直す場所（入力/工程/プロンプト）を特定して更新

実施内容

上級編

- 複数のルートを作ってより精度の高い意思決定をする
- AIと協業して意思決定する

(合計時間) 102分

Chapter 5 : ToTで意思決定材料を作る (全102分)

5-1 ToTで分岐を出す：複数ルートの生成

5-2 比較テンプレ：実現性/コスト/影響/スピード (4軸で十分)

5-3 判断ログ：人が決める・説明できる形に残す

実施内容

上級編

- Chapter6～9
AI実務推進に必要なAIスキルとEQスキルを身につける

(合計時間) 185分

Chapter6：フレーム×AI×EQ（実務アウトプット化）（全51分）

6-1 フレーム選定：状況に合わせてAIに選ばせ、理由も出させる

6-2 SWOT→TOWS（またはロジックツリー）：提案の骨格に落とす

Chapter7：要件定義（SMART×AI）＋合意形成（全91分）

7-1 SMARTで成功条件固定：成果物セットまで決める

7-2 仕様1枚：入力/処理/出力/例外/責任分界

Chapter8：運用設計（ほうれんAI＋社内ナレッジハブ）（36分）

Chapter9：（番外編）Google App Scriptを使った超簡単自動化（7分）

実施内容

上級編

(学習形態)

- e-learningによる動画視聴形式
- e-learningシステム：course baseを利用
 - 受講者1名ごとにアカウントを発行
 - PC／タブレットからオンライン受講が可能
 - 視聴状況・テスト結果など確認可能
 - 修了条件を満たした受講者には修了証を発行

学習管理を
もっと簡単、快適に。

◇ Coursebase



実施内容

上級編

 Coursebase

[Coursebaseとは](#)

[機能・性能](#)

[コンテンツ](#)

[価格](#)

[導入事例](#)

[FAQ](#)

[パートナー](#)

[企業情報](#)

[お問い合わせ](#)



コースビルダー

簡単にオリジナルコースを作成できます。インストール等の手間のかかる作業は発生しません。登録締切日や合格点、キャンセル待ちなどの詳細な設定を加えることも可能です。



課題とアンケート

課題やアンケートを多彩な設問形式で作成することができます。開始日、提出期限、自動採点、ランダム出題、必須回答、自動リマインダーなど、詳細な設定を加えることが可能です。



AI機能

アップロードされた学習コンテンツ（動画、PDF、PowerPoint、Word、画像、音声等）の内容をAIが解析し、解析した内容に基づいた高精度の問題、解答、解説が自動で生成されます。



コンテンツアップロード

テキスト、画像、動画、音声、iFrame、PDF、Office関連ファイルなど様々なデータ形式のコンテンツファイルをアップロードして課題やレッスンを作成することができます。



コースライブラリ

コースライブラリを作成することで、特定の受講者に特定のコースを自主的に受講してもらうことができます。受講者人数の管理や出席管理を簡単な設定で自動化することも可能です。



組織とプロフィール

グループを作成し、グループ毎にユーザーを割り当てることで、簡単に組織を構築できます。ユーザーのプロフィールには部署や職種、入社日などを自由に登録することができます。



レポートとライブビュー

カスタムレポートを作成することができます。抽出できるデータ項目は多岐に渡り、レポートは他のユーザーに共有が可能です。ライブビューでは、リアルタイムで受講状況を確認できます。



プラットフォーム APIとSSO

Coursebaseの堅牢なAPIを使って、あらゆるタレントマネジメントシステムと連携することができます。また、SSOによりログインをセキュアに簡易化することも可能です。



IPアドレス制限

IPアドレスに基づいたアクセス制限をかけることが可能です。機密性の高い情報が入ったコースにはオフィスのIPアドレスからのみアクセスを可能にするといった設定が可能です。

参照：<https://coursebase.co/>

契約期間（訓練受講可能期間）

上級編

契約期間：

- ・ 受講可能期間
アカウント発行日から1か月間
- ・ 期間内であれば、コースを何度でも
視聴・復習可能

受講料金

上級編

上級編 **400,000円 / 1名あたり（税込）**

（全時間）705分：11時間45分

（料金に含まれるもの）

- ・ 上級編の全動画視聴権
- ・ 動画に付随しているワークシートの利用権
- ・ コースベースLMS利用料（月額500円/1ID）
- ・ 受講管理

（アカウント発行・進捗管理サポート）

- ・ 修了判定および修了証の発行